

沖縄県がん診療連携協議会 第1回緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成20年10月17日(金)

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟3階・大会議室

[参加者] 7名: 喜納美津男(きなクリニック)、笹良剛史(南部病院)、宮川真一(県立南部医療センターこども医療センター)、神里長次郎(代理: 沖縄県医務国保課)、上田真(県立中部病院)、中村清哉(琉大病院)、増田昌人(琉大病院)

[欠席者] 3名: 栗山登至(アドベンチストメディカルセンター)、友利健彦(北部地区医師会病院)、足立源樹(那覇市立病院)

[陪席者] 14名: 幸地崇(琉大病院総務課)、桃原ひかる(琉大病院がんセンター)、棚原陽子(琉大病院看護師)、西みゆき(琉大病院看護師)、國仲時子(琉大病院看護師)、金城恵(赤十字病院看護師)、仲村美和子(北部地区医師会病院MSW)、樋口美智子(那覇市立病院MSW)、田畑優美(豊見城中央病院臨床心理士)、比嘉達也(琉大病院麻酔科)、薬師崇(琉大病院精神科)、伊藤昌徳(ハートライフ病院薬剤師)、伊志嶺朝成(浦添総合病院消化器外科)、親富祖勝己(県立中部病院精神科)

[協議内容]

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶

増田がんセンター長より、協議に先立ち、がんセンター発足からこれまでの経緯の説明があった。

2. 各部会委員の自己紹介

各部会委員より自己紹介があった。

3. 委嘱状の授与

増田がんセンター長より、緩和ケア部会委員に対し委嘱状の交付を行った。

4. 緩和ケア部会事前打ち合わせメモについて(資料1)

増田がんセンター長より、資料1に基づき平成20年9月16日に行われた沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会事前打ち合わせで話し合われた内容について説明があった。

5. 部会の目的・やるべき仕事の再検討について(資料2)

増田がんセンター長より、資料2に基づき平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会で承認された緩和ケア部会の目的と方向性について説明があり、10項目にわたる目的を4年かけて一つずつ達成していくことが全会一致で承認された。

6. 部会の人選について

増田がんセンター長より、平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会の中で、患者・患者家族または遺族、有識者、訪問看護ステーション関係者、看護師、薬剤師を部会委員に加えることが承認されたとの報告があり、それらの人選についてはこれから部会の中で話し合っていくことが再度承認された。また、増田がんセンター長より、沖

縄には患者の会等が少ないため人選に時間がかかる恐れがあり委員として参加して欲しい方がいれば推薦して欲しいとの依頼があった。

7. メーリングリストの作成について（資料3）

増田がんセンター長より、連絡先としてメールアドレスと部会参加不可能な曜日の提出依頼があった。また、提出されたメールアドレスを基にメーリングリストを作成し、情報の提供はメールを通じて行うことが再度承認された。

8. 次回の開催日程について

増田がんセンター長より、月1回の部会は委員の人数が多いことから、ある程度日時を決め（例えば、第3月曜の午後3時等）開催した方がいいのではとの提案があり、全会一致で承認された。開催日については、提出された「部会参加不可能な曜日」を基に決定することが承認された。

9. 「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」について（資料4）

増田がんセンター長より、第1回緩和ケア研修会について話し合いを行うため「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」の協力者を陪席に招いているとの説明があり、協力者がそれぞれ自己紹介を行った。研修会企画責任者の笹良委員より研修会の進め方について説明があり、資料4を基に研修会の事前最終確認を行った。

10. その他

緩和ケア研修会は5年間で20回開催することとなっているが、早い時期に宮古・八重山で開催することを目指し、それに係る費用の捻出については、協議会で工面するのか、学会に援助してもらうか、あるいはその他の組織に援助してもらうか、来月以降の部会の中で詰めていくことが承認された。